

行政評価の積極的活用 「評価結果の活用状況の議会への報告を義務化」

川西市

○ 取組の概要

決算説明用の添付資料として、政策評価の結果や全事務事業のコスト情報（財源構成）などを整理した「決算成果報告書」を作成して、毎年議会に提出。

○ 川西市の概要



川西市の概要

市役所所在地

●兵庫県川西市中央町12-1

人口

●159,395人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

○ 取組について

1. 取組の背景

- ・大阪のベッドタウンの一つである川西市は、平成2年、24年間在職していた元市長の公共事業を巡る汚職事件、前市長の市長選に絡む贈収賄事件等の結果、元市長の逮捕、前市長辞職、議会の自主解散など、正に市政崩壊の様相を呈していた。
- ・前県議であった柴生現市長当選後、市のイメージを払拭すべく、市民に開かれた市政をめざして、総合計画審議会委員に高校生を登用するなど一連の改革に着手した。庁内では「情報公開」「市民への説明責任」「市民参画」などを重要な政策課題として取り上げ、具体的なシステムづくりを検討することとなった。
- ・上記課題への対応の一つとして、平成4～5年に地方自治研究資料センター・斉藤達三氏との共同研究により、「総合計画の管理システム」の開発に着手。その後、阪神淡路大震災などの影響により同システムの導入を延期。そして、平成9年度からは事業評価を試行し、現在の行政評価システムへと発展させている。
- ・平成9年度からの事業評価試行を経て、平成11年度から「事業別予算」を導入、及び施策の体系の小項目（施策）レベルでのアウトカム（効果・成果）評価を開始した。
- ・このように行政評価システムが本格稼動したタイミングで、「情報公開」「市民への説明責任」を果たすため、その成果を決算成果報告書「こころ街レポート」にとりまとめて、毎年9月に議会（決算特別委員会）に提出することとした。

2. 取組の具体的内容

- ・「こころ街レポート」は、「施策体系別所属別総コスト一覧表」「施策別評価指標一覧表」「行政サービス成果表」で構成されている。

① 施策体系別所属別総コスト一覧表

- ・この表は、一般会計決算を、総合計画の施策体系（分野、小分野、施策）を表側に、さらに所属部等を表頭にマトリックス（行列）に並び換えているものである。
- ・この表からは、「施策の目的ごとのコスト」を捉えることが可能である。なお、コストを正確に捉えるため、決算書では事業コストに含めていない人件費と公債費を含めて計上している。（以下は平成15年度同表から一部抜粋）

施策体系別所属別総コスト一覧表

分野	小分野	施策	企画財政部	総務部	市民生活部	健康福祉部	土木部	まちづくり部	美化推進部
1 健康福祉都市	1 健康	1 健康づくりの推進 ★				63,979			
		2 保健・医療サービスの充実 ★			1,052,561	883,562			
		3 医療体制の充実 ★	593,477			208,305			
	2 地域福祉	1 推進体制の充実 ★				344,024			
		1 高齢者在宅サービスの充実 ★				189,596			
	3 高齢者福祉	2 高齢者施設サービスの充実				307,173			
		3 生きがいづくりと社会参加の促進 ★				341,782			
	4 障害者福祉	1 障害者在宅サービスの充実 ★				1,151,956			
		2 障害者施設サービスの充実 ★				347,259			
		3 社会参加の促進 ★				65,988			
	5 児童福祉	1 子育て支援の充実 ★			28,318	631,421			
		2 保育サービスの充実 ★				1,635,594			
	6 母子・父子福祉	1 生活支援と社会参加の促進				424,351			
	7 低所得者福祉	1 安定した生活の確保と自立支援 ★				1,770,215			
	8 社会保険	1 介護保険制度の適正な運営 ★				933,499			
		2 国民健康保険制度の適正な運営 ★			1,363,463				
		3 老人保健制度の適正な運営 ★			701,692				
		4 国民年金に関する普及・啓発 ★			36,791				
		小計		593,477		3,182,823	9,298,684		
		1 学校教育	1 教育内容・指導の充実 ★						
		2 教育環境・支援の充実 ★							

② 施策別評価指標一覧表

- 目的の体系の最小単位である「施策ごとの評価指標」を表している。この指標は、計画立案の際の事業の優先順位付け、事業選択等に活用している。(以下は平成15年度同表から一部抜粋)

施策別評価指標一覧表

分野	小分野	施策	評価指標
1 健康福祉都市	1 健康	1 健康づくりの推進	1 健康教育指導参加者数 2 健康大学卒業者数 3 個別健康教育終了者数 4 前の健康フェア参加者数
		2 保健・医療サービスの充実	1 予防歯科センター検診指導等事業参加者数 2 基本健康診査受診率 3 1歳6カ月児健康診査受診率 4 3歳児健康診査受診率 5 予防接種接種率(乳幼児法定接種分) 6 予防接種接種率(高齢者インフルエンザ)
		3 医療体制の充実	1 休日応急診療の受診者数 2 休日応急診療の受診者数 3 夜間応急診療の受診者数(小児救急)
	2 地域福祉	1 推進体制の充実	1 福祉デザインひろば設置数 2 ボランティア講習受講者数
	3 高齢者福祉	1 高齢者在宅サービスの充実	1 要援護高齢者等の実態人数
		2 高齢者施設サービスの充実	
	4 障害者福祉	3 生きがいづくりと社会参加の促進	1 シルバー人材センター会員登録率 2 シルバー人材センター卒業率
		1 障害者在宅サービスの充実	1 知的障害者通所授産施設待機率 2 身体障害者通所授産施設待機率 3 心身障害者ホームヘルパーサービス利用者数
			2 障害者施設サービスの充実
		3 社会参加の促進	1 盲点力イトヘルパー利用者数 2 盲点力記者派遣利用者数 3 手話奉仕員派遣利用者数 4 脳性まひ者等全身性ガイドヘルパー利用者数 5 聴覚障害者ガイドヘルパー派遣者数

③ 行政サービス成果表について

- 施策体系(分野)に基づいて分類している。各施策体系ごとに「施策別行政サービス成果表」と「事業別行政サービス成果表」の2種類の表を添付して編成している。
- 「施策別行政サービス成果表」とは、「施策体系の施策レベルで行政サービスのコストと成果を捉えようとするもの」であり、ここでの成果は、アウトカムの評価指標を用いている。具体的には、表の左側に施策を達成するために用いた事業・細事業とコストを表示し、右側に成果をみるための評価指標を表示している。
- 「事業別行政サービス成果表」とは、目的として掲げた施策実現のために行った行政サービスについて、事業をキーにして作成している。ここでは、決算書に表示している事業ごとにコスト情報、事業実施情報を掲載して1つの表にしている。また、事業実施情報の中で細事業ごとに成果指標を作成して

いるが、これは、アウトプットとして捉えるものであり、原則、前年度と比較している。（以下は平成15年度同表から一部抜粋）

施策別 行政サービス成果表

番号: 030101	所属(部): 市民生活部
分野: 環境共生都市	小分野: 環境保全
施策: 環境の保全と創造	

事業・コスト一覧 コスト合計: 28,465千円 評価指標

2 * 環境啓発推進事業				環境創造課			
事業費	職員人件費	公債費	合計				
718	27,747	-	28,465				
1 環境保全啓発事業			718				

1. ノーマイカーデー実施に伴うマイカー利用の減少率(6月・12月実施分)				
平成14年度実績値	平成14年度実績値	平成15年度実績値	平成19年度目標値	
98.2	98.2	96.04	97.2	
指標値の根拠	(6月20日、12月20日のマイカーの交通量)÷(6月13日、12月13日(前週)のマイカーの交通量) (交通量調査地点は市内2ヶ所: 午前7～9時のマイカーの台数)			単位 %
備考				

2. 環境市民会議参加者数				
平成14年度実績値	平成14年度実績値	平成15年度実績値	平成19年度目標値	
250	250	50	200	
指標値の根拠				単位 人

3. 取組にかかる事業費

- 平成16年度の事業費(システムリース料)は、1,732千円である。

4. 取組の体制

○現在の体制

決算成果報告書「こころ街レポート」の作成は、企画財政部財政課が所掌している。また、行政評価、総合計画の策定・管理を所掌する企画財政部政策室も関わっている。

5. 取組の成果

- 取り組みの成果は以下の2点である。

- 近年は予算、決算の委員会において、「こころ街レポート」の内容について言及、質問があるなど、関心が高まっている。
- 職員の仕事のスタイルも、総合計画を行財政運営の中心に据えながら、これまでの業績重視から成果重視へと変化している。

6. 今後の課題

- 「こころ街レポート」は今後も策定を続ける予定であるが、行政評価システ

ムの発展や、同市が考える新しい自治・まちづくりの仕組みに応じて、広く活用していくことを想定しており、それに向けての取り組みが今後の課題といえる。